

平成30年10月23日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市木曾川町里小牧字笹原35-1

団体名 木曾川緑道を守ろう会

代表者 職・氏名 会長・日比野 洋一

### 一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

#### 記

1 事業の名称	環境保全・美化サポート事業		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ選択し、○で囲んでください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 <b>環境の保全</b> 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他( )	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	138,000 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	243,000円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	207,000円
当該事業によって得られる収入 (c)	0円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	138,000円

※ 1円未満切捨て

#### 4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

様式2 (第5条第1号関係)

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	木曾川緑道を守ろう会		
市内事務所の所在地	〒493-0005 一宮市木曾川町里小牧字笹原35-1		
代表者職・氏名	会 長 ・ 日比野 洋一		
設 立 年 月	平成20年 6 月	構成員の人数	20人
U R L	http://		
連 絡 先	(担当者氏名) 日比野 洋 一		
※この申請に関する 問合せに対応できる方	電 話	0586-86-2648	F A X 0586-86-2648
	E-mail	yo-9674@tg.commufa.jp	
団 体 の 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域環境の保全及び美化活動を行う。</li> <li>・地域住民の憩いや癒しの場づくりに寄与する。</li> </ul>		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾川緑道に植樹されているサクラ、キンモクセイ等の樹木に対する管理(水やり、施肥、消毒、剪定等)を中心とした環境保全活動</li> <li>・木曾川緑道の除草及び清掃等の美化活動</li> <li>・木曾川緑地公園及び周辺(通称「雀のお宿」公園)の環境美化活動</li> </ul>		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年6月15日、「木曾川緑道を守ろう会」の発足</li> <li>・平成20年7月から毎月第2日曜日&amp;第4土曜日の7:00~9:00の2時間、緑道の除草及び空き缶、ゴミ拾い等の美化活動や樹木の水やり、施肥、消毒及び剪定等の環境保全活動を実施している。また、木曾川緑地公園及び周辺の除草や樹木剪定等の環境美化活動を実施している。</li> <li>・平成29年度の活動実績は、18日間で延べ190名が参加した。</li> <li>・平成30年度も、毎月2回の活動日を設け、上記の活動内容を中心に継続して緑道や緑地公園周辺の環境保全及び美化活動に取り組んでいる。</li> </ul>		
今年度予算額	261,000円	昨年度決算額	270,382円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有(補助金等の名称: ) <input checked="" type="checkbox"/>		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4版(片面印刷)とする。

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>木曾川緑道を守ろう会</p>
<p>事業の名称</p>	<p>環境保全・美化サポート事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください)</p> <p style="text-align: center;">31年4月1日 ~ 32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所</p> <p>木曾川町里小牧から玉ノ井にかけて旧官田用水を埋め立てて整備された遊歩道 (「木曾川緑道」と名称する) 及び木曾川緑地公園周辺</p> <p>(3) 受益対象者</p> <p>遊歩道 (「木曾川緑道」) 及び木曾川緑地公園の利用者や近隣の地元住民</p> <p>(4) 実施体制</p> <p>年間20日間 (4月から11月は月2回、12月から3月は月1回) の定期活動日を設け、ボランティア有志の参加で実施する。</p> <p>(5) 具体的な内容</p> <p>多くの市民に、朝夕の散策や通勤・通学路そして憩いの場としても利用されている遊歩道 (「木曾川緑道」) の環境保全・美化活動を年間を通して行う。具体的な活動内容としては、遊歩道に植樹されているサクラやキンモクセイ及び側道のアベリア、ツツジなど生垣の施肥、水やり、消毒、剪定を時季に応じて実施する。また、遊歩道の除草や空き缶、ごみ拾い等の清掃活動も継続して行う。さらに、木曾川緑地公園及びその周辺 (通称「雀のお宿」) の環境保全・美化活動にも取り組む。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>「美しい環境は人の心を豊かにする。」かつてはタバコの吸い殻や空き缶、ごみが捨てられていた遊歩道も最近ほとんど見られなくなった。今後も遊歩道が地元住民にとって憩いや癒しの場として美しい環境が維持されるよう継続した活動に努める。そのために、地元シルバー団体とも連携し、作業の効率化を図っていく。また、活動の輪を広げる一環として、校区の小学校児童やPTAと協力して遊歩道の除草作業に取り組んでいる。さらに、活動場所を木曾川緑地公園及びその周辺（通称「雀のお宿」）へも広げ、他団体（「イタセンパラ生息地保存会」）と連携して河川環境美化に取り組んでいく。</p>	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>約2.5kmにわたって整備された遊歩道、両側にはサクラやキンモクセイ等の樹木、アベマリアやツツジの生垣が連なる。田園風景の中に見事に咲いた桜並木の景観、朝夕の散策や健康遊具で遊んだり休憩所のベンチで楽しく語らったりする老若男女の姿が見られる。そうした地域住民の憩いや癒しの場づくりに少しでも寄与することを願い、この遊歩道の美しい環境を維持するためのボランティア活動に取り組んでいる。このような思いに共感する人たちの輪が広がり、幅広い地域住民の参加に繋がっていくことを期待している。</p> <p>また、遊歩道の両側には、11年前に地元の小学生が卒業記念に植樹した55本のソメイヨシノをはじめ、その後も地元企業や個人から寄贈されたいろいろな種類のサクラが植えられ、現在では約150本まで増えている。これらのサクラを守り育て、十数年後には木曾川町の桜名所になってほしいという願いもある。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>自分たちが住む地域の美しい自然や環境を守り育てていくことは、地元住民の共通の願いである。その願いや思いに賛同するボランティア有志による奉仕活動は、まさに地域住民の地域住民による地域住民のための活動であり、大変意義ある取組である。</p> <p>市が整備した遊歩道や緑地公園を美しく維持、管理するために行う奉仕活動に対し、必要経費の一部を公費で負担することは理にかなっていると考える。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>4月～3月 （毎月の第2日曜日 &amp; 第4土曜日の2回）</p>	<p>内 容</p> <p>○原則として、早朝2時間（7:00～9:00）の活動する。 ○活動日として、年間20日間以上予定する。 ○常時活動として、遊歩道の除草及び空き缶、ごみ拾い等の清掃活動、木曾川緑地公園周辺の除草作業を行う。 ○7月～8月を中心にサクラやキンモクセイなど樹木の水やりを行う。（5回予定） ○10月下旬～1月にかけて樹木や生垣の剪定を行う。 ○6月及び11月上旬頃にサクラ、キンモクセイ等の樹木やアベリア、ツツジ等の生垣の消毒を行う。（5回予定） また、時季に応じて樹木の施肥を行う。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 木曾川緑道を守ろう会

事業の名称 環境保全・美化サポート事業

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	138,000	
事業収入	0	
自主財源	105,000	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より 105,000円 <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ( )
計	243,000	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	0	0
旅費	0	0
印刷製本、消耗品費	112,000	112,000
食糧費	36,000	0
通信費、手数料	0	0
備品費	35,000	35,000
人件費	0	0
使用料、賃借料	60,000	60,000
その他		
計	243,000	207,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳*
	支援金算出額 (円)	
報償費		
旅費		
印刷製本、 消耗品費	112,000	・インク代&コピー用紙代等 15,000 円 ・刈払機の燃料代 15,000 円 ・樹木消毒用薬品代 20,000 円 ・樹木等の肥料代 10,000 円
	112,000	・刈払機&トリマの替刃代 4,000×8=32,000 円 ・刈払機&トリマなど道具の修理、点検代 10,000 円 ・清掃道具等消耗品 10,000 円
食糧費	36,000	・参加者お茶代 @150 円×12 人×20 日=36,000 円
	0	
通信費、 手数料		
備品費	35,000	・刈払機 1 台 35,000 円 (※活動当初から使用している刈払機が消耗し、修理が不能な状態であり、順次買い換えていきたい。草刈用の刈払機は活動を行うための必需品です。)
	35,000	
人件費		
使用料、 賃借料	60,000	・消毒用タンク車賃借料 5 回分 30,000 円 (タンク車 6,000×5) ・水やり用タンク車賃借料 5 回分 30,000 円 (タンク車 6,000×5)
	60,000	
その他		

※ 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを ( ) 書きで再掲してください。  
例) スタッフ費用 @1,000 円×5h×2 人=10,000 円 (@800 円×5h×2 人=8,000 円)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 版 (片面印刷) とする。